

若手研究者育成プログラムを実施して

教育学研究科附属学校教育高度化センターでは、研究科内の公募によって、大学院生のプロジェクト（通称：院生プロジェクト）に対して継続的に助成がなされてきました。平成26年度は、「若手研究者の国際発信力向上」を焦点にし、大学院生に、国際的に発信する経験を提供することを企画しました。その結果、平成26年度、27年度のセンターのプロジェクトテーマである「グローバル時代の学校教育」を共通テーマとして、平成26年度に新しく教育学研究科との間で部局間協定が結ばれたストックホルム大学の大学院生や教員との国際シンポジウムが計画されました。東大からは研究助成を受けた6プロジェクト（個人・グループ）の大学院生が二つの会場に分かれ、ストックホルム大学の教員、東大側の教員がそれぞれ司会を務める中、両大学間の学生や教員の間で活発な議論がなされました。

国際シンポジウムに先立ち、センターの運営委員や指導教員、学生に対して中間発表がなされ、国際的に発信する時にはどのような視点の転換が必要なのか等の議論が具体的発表内容に沿って指摘されました。発表言語は指定しませんでした。結果的に全研究グループ・個人研究が英語での発表を用意し、センター付助教のアドバイスを国際交流室の英語での国際発表支援を活用し、相互に研究内容を練りながら、本番での発表と議論に臨みました。

また、今回は、学部総合改革による学部生の研修プログラムと連携することができ、学部・大学院の交流の機会ともなりました。教員、国際交流室のスタッフ、が学部研修に同行し、国際シンポジウム以外の教育研修プログラムも充実したものとなりました。

国際シンポジウムの様子は学校教育高度化センターのホームページ及び、ストックホルム大学のホームページにも紹介され、今後、大学院生のワーキングペーパーが『学校教育高度化センター研究紀要』に掲載される予定となっております。

センターを代表して大学院生のプロジェクトへの教育学研究科の支援に感謝いたします。

学校教育高度化センター運営委員

恒吉僚子（センター長）

北村友人（副センター長）

多賀巖太郎

村上祐介

伊藤秀樹（助教）

2015年3月

学校教育高度化センター長

恒吉僚子